

主宰作品

染谷秀雄

夜干の梅

ゆるやかに刻の流るる軒菖蒲
てのひらを飛んで草間へ青蛙
鳩の巢に四泥つきの草啞へ来る
あかがねの光りて桶屋走り梅雨
白南風や水を流して魚市場
賄ひの糯米浸す夏の寺
夏萩の水に触れつつ咲くところ
白檜の根回りを掃く日の盛
その下に散る凌霄の花の数
大粒の夜干の梅のみな凹み